

かがわ

自治連だより



●山地 ●農地
●住宅街 ●海岸

2025年(令和7年)

9月1日

Vol.31

発行:嘉川自治連合会

編集:広報委員会

住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし



各分会の主な取り組み	2・3
第4期(令和7~11年度)地域づくり計画	4
令和6年度決算・7年度予算	5
地域では今... ..	6
ふるさと嘉川への私の思い	7
私の自治会は	8

第4期嘉川地域づくり計画(令和7~11年度)がスタート

◎嘉川自治連合会会長 長掛 実

嘉川自治連合会の地域づくりの5ヶ年計画を現状に合うようにリニューアルしました。
「住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし」のキャッチフレーズはそのままです。
誰もが住みたい、住み続けたい、住んで良かったと思う嘉川のまちづくりの指針です。

〒754-0897 山口市嘉川4651-1
山口市嘉川地域交流センター内
TEL/FAX:083-989-3956 Mail:info@kagawaj.com



ホームページを活用しましょう

パソコンやスマートフォンでご覧ください。

<https://www.kagawaj.com/>

ひとよし みんなの元気がこだまするまち

ひとづくり部会 ◎部会長 落合 敏行

みんなの元気がこだまするかがわを “めざせ! 健康寿命100”

健康寿命とは、心身ともに自立し、健康的に生活できる期間のことで、令和4年の統計によれば、山口県の男性は72.0歳、女性は76.4歳で、平均寿命との差は男性が9.0年、女性が10.5年となっています。この差を縮めることが健康長寿の秘訣です。食生活の見直しや散歩など適度な運動の習慣化、地域社会活動への参加などを呼びかけ、健康寿命100をめざします。

部会では、高齢者の健康と生きがい対策、乳幼児・子育てへの支援、地域住民の健康ライフ活動、地域貢献活動団体等への支援や補助金の交付を行います。

具体的には、①自治会単位で行う健康相談 ②高齢者対象のいきいきサロン活動 ③“しゅっぱぽぽ”など乳幼児子育て活動の支援 ④地域住民対象の“元気あっぷチャレンジ”の実施 ⑤スポーツ用品の貸出しなど。

元気の源は健康であることです。一人ひとりが健康を考え、部会の活動に参加し、人生100年時代に相応しく、“健康寿命100”をめざしてみませんか？

『みんなの元気がこだまするまち“かがわ”』と一緒に作り上げましょう。



住みたいね。嘉川

嘉川の魅力を活かした 元気

各部会の

ものよし みんなが

環境づくり部会 ◎部会長 深野 幸生

美しい環境づくりをめざして

自治連では各自治会等に春と秋に花の苗を配布し、「まちじゅう花いっぱい運動」の取組を行っていきます。きれいな花で心を癒やしましょう。

また、各地域でも清掃活動が行われていますが、自治連では皆さんの協力を得て、今年も11月の最後の日曜日を「嘉川一斉清掃の日」として、ポイ捨てが多い国道の3ヶ所でごみ拾い等の清掃活動を行います。ゴミのポイ捨てをなくす「ゴミゼロキャンペーン」で、きれいで住みやすい地域づくりをしていきます。

「本郷里山づくり」では里山の再生、登山道やコスモス畑等の整備が着実に進んでいます。嘉川の住人として皆さんに何ができるか、メルヘンと癒しの地域になるように一緒に取組んでいきましょう。



自主防災本部 ◎副本部長 小池 誠一

みんなで安心防災 みんなで命を守りましょう

今年も大雨、台風の季節になりました。豪雨・高潮・地震等により、いつ発生するか分からない災害に対して、普段から、災害の状況に応じた防災本部の配備体制、自治会・関係者との情報連絡、皆さんの避難行動や避難所生活の支援ができるよう、様々なことを想定しながら、適切に対応できるよう準備をしています。

防災備蓄品についても必要なものを計画的に購入整備しており、昨年は第2の指定避難所である川西中学校に防災倉庫を設置し、備蓄品を用意しました。

ひとよし ものよし ところよし

で楽しく 住みたいまちづくり

主な取り組み

快適に暮らせるまち

また、小中学生の命を守る防災学習にも取り組んでおり、小学4年生と中学1年生を対象に今年も実施の予定です。

皆さんのスマホにより、山口市防災メール・防災ポータル等を活用すれば、気象情報や緊急・避難情報等が入手でき、適切な避難行動ができます。

ぜひご活用ください。



安全づくり部会 ◎部会長 秋本 武美

住みたい地域環境、安全な社会インフラの整備

嘉川地域は県道江崎陶線周辺の人口増加地域とその他の人口減少地域とで地域格差が生まれつつあります。

コミタク等の充実をはかるなど、高齢者等の交通弱者支援のため、特に通院や買物など、生活に必要な交通環境を充実させてまいります。

昨今の自然災害に対応する災害に強い社会インフラの国土強靱化とまではいきませんが、災害時に避難道路となる市道・生活道の拡幅改良や氾濫する河川災害から地域を守る対策を講じていきたいと思います。

防災や減災の一助となるよう、安全な社会インフラの整備について、引き続き関係機関に要望してまいります。



令和6年度予算で完成した
中市西本郷線 待避所

これらの目標を達成するには、関係者の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、よろしくお願いします。

ところよし みんなが楽しくふれあうまち

まちづくり部会 ◎部会長 松崎 志郎

「住みたいね。嘉川」を実感していただくまちづくりをめざし、交流の場・情報提供を行います。

・ウオークイベント活動、嘉川子どもみこしなどのふれあい交流

嘉川の伝統行事に参加することで、楽しさを実感してもらいます。今年の嘉川子どもみこしは9月14日(日)に実施しますので、ご声援をお願いします。

・特産品づくりを通じての嘉川らしいまちづくり

嘉川の地酒「嘉穂の郷」づくりは16周年を迎えました。今年度、田植え体験は6月8日に実施し、鮎つかみなども含め多くの参加者(約180名)がありました。秋には稲刈り体験、新酒発表会などのイベントを開催し、地域の皆さんに地酒への愛着を深めていただこうと考えています。

また、お菓子(酒粕・米粉)などの嘉川特産品の普及も行います。原則奇数月の第3土曜日に開催される、Kagawa Marketで販売をいたします。新たな特産品開発にもチャレンジしてまいります。



・多数の媒体を通して嘉川のすばらしさを紹介

嘉川自治連ホームページのブログに、様々な情報を発信します。また、第7回「嘉川のいいところ見つけちゃろ」写真コンテストを実施し、応募作品を活用した嘉川CALENDARを制作します。



第4期 嘉川地域づくり計画（令和7～11年度） 嘉川自治連合会

キャッチフレーズ 住みたいね。嘉川 ひとよし ものよし ところよし

スローガン 嘉川の魅力を活かした 元気で楽しく 住みたいまちづくり

基本目標	ひとよし	みんなの元気がこだまするまち ひとが主役、みんなで支え合い、元気がこだまするまち
	ものよし	みんなが快適に暮らせるまち 美しい環境のもと、みんなが安心快適に暮らせるまち
	ところよし	みんなが楽しくふれあうまち 地域の魅力があふれ、みんなが楽しくふれあうまち

基本目標	事業	活動内容	主要関係団体	部会等
ひとよし	すこやか子ども未来	1 嘉川子ども館の子育て活動の支援	子ども館	ひとづくり部会
		2 いのちの学習「川西ちびっ子大集合」の支援	子育て支援みらい	
		3 児童生徒の見守り活動の支援		
		4 小学生「ふるさと学習」「世代間交流」の支援	青少協	
	みんなで健康長寿	1 いきいきサロンの活動支援	いきいきサロン	
		2 健康相談の実施	自治会	
		3 高齢者団体の活動支援	高齢者団体	
	楽しい健康ライフ	1 元気あつぷチャレンジ		
		2 スポーツ用品の充足・貸し出し	諸団体	
		3 健康づくり団体への活動支援	健康づくり団体	
	がんばる人づくり	1 ボランティア活動団体への活動支援	きずな、みおつくし等	
		2 がんばる組織の応援	諸団体	
		3 がんばる人の応援（人材バンク）		
ものよし	美しい環境づくり	1 まちじゅう花いっぱい活動	自治会等	環境づくり部会
		2 本郷里山づくり	本郷里山ボランティア	
		3 みんなで清掃、美しい地域づくり	ボランティア団体等	
	みんなで安心防災	1 自主防災組織の設置促進、充実強化	自治会	自主防災本部
		2 防災研修・訓練で地域防災力の強化	自主防災組織等	
		3 防災士・自主防災アドバイザーの養成		
		4 小中学生の「命を守る防災学習」	小中学校	
	優しい交通ネット	1 便利なコミュニティー交通	コミタク協議会	安全づくり部会
		2 交通弱者・高齢ドライバーの支援	交通・防犯対策協	
		3 交通安全施設の整備	交通・防犯対策協	
	公共インフラ整備	1 市道改良、河川浚渫、下水道等の要望	自治会	建設委員会
		2 法定外公共物等の整備	自治会	
ところよし	ふれあい交流	1 ふれあい交流イベント	まちづくり委、青少協等	まちづくり部会
		2 元気いっぱい子どもイベント		
		3 地域文化ふるさと探訪と地域再発見	元気会、青少協等	
		4 みんなであいさつ活動への支援	小中学校等	
	歴史文化の伝承	1 地域行事で嘉川の躍りを伝承		
		2 嘉川の遺跡・史跡の保存・継承	昭和会	
	嘉川らしいまちづくり	1 嘉川の酒「嘉穂の郷」の酒米づくり等の支援	まちづくり委員会	
		2 嘉川の特産品の開発と普及	食推協、美食倶楽部	
		3 嘉川の元気なまちおこしへの支援	まちづくり委員会	
	嘉川の情報発信	1 地域情報をみんなで共有する広報誌の発行		広報委員会
		2 暮らしに役立つホームページの充実		
		3 住みたい嘉川の魅力を地域外へ発信	まちづくり委員会	

嘉川自治連合会 令和6年度決算・令和7年度予算

収入の部

単位 (円)

項 目	令和6年度決算	令和7年度予算	摘 要
地域づくり交付金	8,332,000	8,332,000	
土木工事交付金	4,456,000	4,456,000	
助 成 金 等	200,000	250,000	地区社会福祉協議会助成金
繰 越 金	440,899	412,218	前年度繰越金
会 費 収 入	474,600	480,000	会費 1 戸 2 0 0 円
雑 収 入	3,641	2,782	
合 計	13,907,140	13,933,000	

支出の部

単位 (円)

事業名		令6年度決算	令和7年度予算	摘要
事務運営費		4,805,408	5,104,750	事務局人件費、事務費、消耗品等
ひとよし	すこやか子ども未来	242,046	210,000	子育て支援、児童見守り、ふるさと学習、世代間交流学習の活動支援
	みんなで健康長寿	210,000	210,000	いきいきサロン、老人クラブ、交通防犯講習の支援、健康相談の実施
	楽しい健康ライフ	230,912	210,000	元気あっぷチャレンジ、生涯スポーツ支援、健康活動支援
	がんばる人づくり	140,200	150,000	ボランティア組織等の支援、人材育成
ものよし	美しい環境づくり	835,145	820,000	花いっぱい運動、本郷里山づくり、地域の清掃活動ほか
	みんなで安心防災	650,280	360,000	自主防災組織の支援、防災研修・訓練、小中学生防災学習、防災備品整備等
	優しい交通ネット	50,000	90,000	コミタク利用促進、交通安全施設の整備
	公共インフラ整備	4,456,000	4,456,000	法定外公共物等整備
ところよし	ふれあい交流	419,014	360,000	ふれあいウォーク、子どもみこし、謎解きアドベンチャー、写真コンテスト等
	歴史文化の伝承	60,000	70,000	文化遺跡の維持管理ほか
	嘉川らしいまちづくり	220,553	350,000	「嘉穂の郷」酒米づくり体験、特産品開発
	嘉川の情報発信	671,850	650,000	広報紙の発行、ホームページの維持管理、「住みたいね嘉川」の活用ほか
地域づくり交付金計		12,991,408	13,040,750	
活動運営費		503,514	892,250	会議費、部会活動費、地域活動費ほか
合 計		13,494,922	13,933,000	

収入額 支出額 次年度繰越額
 13,907,140－13,494,922＝412,218

地域では 今...

本郷里山体験イベント開催

◎自治連合会 安元 寿代

3月9日(日)、里山の暮らしや自然を体験することで里山に興味を持ってもらい、里山づくり活動へ繋ぐことを目的に、里山体験イベントを開催しました。

1月初旬から計画を練り、内容を考えながら並行してセンターだよりで参加者を募りましたが、出足は芳しくなく、締め切りを延ばすなどして、スタッフを合わせて40名の参加となり、8人の班が5班できました。

それぞれの班で、全員で協力し火おこしから始めました。個人的には火おこしができるかなと不安だったのですが、心配無用でした。それぞれの班に、小さいころお風呂は木々を燃やして沸かしていたという方が居られ、火おこしはお手の物。あっという間にすべての班がイノシシ鍋と飯ごう炊飯の準備ができました。今の飯ごう炊飯は、昔のような面倒さはなくおまけにととても美味しく炊けました。イノシシ鍋、イノシシ肉の塩焼きも想像以上の美味しさに感動。参加者全員で鳥のさえずりを聞きながらの梅の花見など、里山散策もしました。

コーディネーター檜谷さんを囲んで里山活動の意見交換もあり、とても充実した一日が過ごせました。次回開催をご期待下さい。



「しゅっぱぽぽ」20周年記念まつり開催

◎高井 邦子(嘉川子ども館しゅっぱぽぽ 代表)

嘉川地域の12団体のみなさんや川西中学校のボランティアサークル「きずな」のみなさんなど100名を超える方々のご協力・ご支援を得て、7月6日(日)に20周年記念まつりを開催しました。

山口学芸大学の学生さんが趣向をこらした、親子参加型の出し物や、輪投げ・ヨーヨー釣りなどを、子育て中の親子づれや以前しゅっぱぽぽに来ていた小学生など260余名の参加者と共に楽しみ、盛況のうちに20周年を祝うことができました。心より感謝しております。

子育て支援という活動がはじまりでしたが、今や、中学生、大学生、地域の活動団体と連携する活動となっています。日本の未来を担う若者や子どもたちのため、「しゅっぱぽぽ」はこれからも地域のみなさんと共に力をあわせ活動して行きます。



嘉川PRIDE

◎ 西村 浩司(宮の原)

地域の方々と嘉川八幡宮境内の掃除、ラジオ体操、周辺の散歩で1日がスタート。宮の原に移り住んで、ギャラリー・カフェをオープンしてまもなく1年になります。

地域の賑わいの場になればと、屋号を「嘉々輪屋」(かがわや)にしました。試行錯誤で企画しながら、様々なジャンルの作家さんの作品展示、ワークショップなどを開催し、私自身も楽しんでいます。

自治連合会からのお声かけで、東本郷での里山体験イベントや禅定寺山登山道整備に参加し、素敵な場所を知ることができました。



右が本人

お客様との会話の中で、地域の人、場所などを教えていただくことが多く、まだまだ嘉川には隠れた宝があるのでは、と今後の出逢いを楽しみにしています。

私は小郡で生まれ育ち、合併して山口市となりましたが、今でも小郡町出身という想いでいますし、誇りも持っています。ご縁あって居を構えた嘉川、新たなふるさととして同様な気持ちになれると感じています。

現在、嘉川は若い世代のご家族が増加しています。次世代を担う子ども達が「私は嘉川生まれだ」と誇りに思える「ふるさと嘉川」へとより発展して行くことを期待しています。

「空気」の寄り添う花屋に

◎ 河端 里咲(今井)

私は高校卒業まで嘉川で育ちました。学生の頃は遊ぶ場所が少ない嘉川を物足りなく感じ、出て行きたいと考えていました。大学進学を機に関西に移り、東京で働くことを決めました。おしゃれなモノが溢れる都会の生活は楽しく、また新聞記者という仕事は刺激的で、やりがいもありました。しかし次第に、見えない「マス(大衆)」に訴えかけるマスメディアの仕事ではなく、もっと目の前の人に確実に何かを届けられる仕事がしたいと思うようになりました。

漫然とそんな思いを抱えながら帰省して見た嘉川の風景は、かつての印象とは全く違っていました。美しい山や海、田園が広がり、ゆったりと流れる実存する暮らしがそこにはありました。ここが私の居場所だと思い、昨年夏今井地区に、花屋を開きました。店の名前は「Luft(ルフト)」。

ドイツ語で「空気」や「空」の意味です。嘉川の方々の暮らしの中に自然と溶け込むような、身近な存在でありたいという思いを込めました。ありがたいことに、オープン以来、多くの地域の方々が訪れてくださっています。お祝いに、お供えに、ご自宅用

に、そしてご自身のための一輪に、とお花を求めてくださる方がいることが嬉しく、励みになっています。これからも嘉川で、人と花とが自然につながる場所をつくっていけたらと考えています。季節の花とともに、誰かの記憶に少しでも残る嘉川の風景の一つになれば、という願いを込めて。



人よし お祭りよし 宮の原

◎宮の原自治会長 村藤 一成

宮の原自治会は、嘉川小学校の北に位置する、自然に囲まれた閑静な住宅地で、近年は新たな宅地開発も進み、若い世代の転入によって世帯数が増加しています。昔からいらっしゃる方と新しくお住まいになられた方とのつながり、世代を超えたつながりが深まり、活気ある地域へと変わりつつあるのが大きな特徴です。

特に、地域の誇りである嘉川ハ幡宮の秋祭りは、子ども神輿や奉納行事などでにぎわい、地域の絆を深める貴重な機会となっています。宮の原自治会の方も準備や運営に協力し合い、世代を問わず楽しめる大切な年中行事となっています。

また、嘉川地区体育祭や文化祭、ソフトバレーボール大会、春・秋の道普請、子ども会行事を通じて、「顔の見える関係づくり」「笑顔と感謝」を大切にした活動が展開されています。住民一人ひとりが地域づくりの主役となり、誰もが安心して暮らせる宮の原を目指して、今後も取り組みを続けてまいります。



変わりゆく深溝西

◎深溝西自治会長 和田 哲夫

深溝西自治会は佐山地区に隣接しています。国道190号や、宇部線深溝駅が5分以内の所にあります。深溝西自治会員は大部分後期高齢者がしめて、活力が減退気味です。地区内には矢石川があり、年3回泥上げと草刈り作業を自治会として行っています。2回目は8月24日、お地藏さま接待直前の日曜日朝7時から周辺美化のために作業をしています。

周辺の田んぼは圃場整備が完了し、米、麦、玉葱、大豆を収穫しています。イチゴハウスが100棟あり、住宅地以外は農作地です。

地区内には郵便の集配施設やコンビニがあり24時間営業をしています。そこは都会の不夜城のように見えます。

近年は数年前まで田んぼだった所に宅地開発が進み、去年は9軒が建ちました。現在第二地区の造成工事も完了し、これから20軒以上増えそうです。子どもたちの声が響くことを楽しみにしています。



かがわのレノ丸くん誕生。よろしくね!

レノファ山口FCのマスコットキャラクター「レノ丸くん」の弟分「かがわのレノ丸くん」が誕生しました。

嘉川の特産品である海苔とお酒がモチーフです。海苔をまとい、酒米を持った元気なレノ丸くんです。これから、いろいろな場面で登場します。

このキャラクターに親しみを持って、元気あふれる嘉川となるよう、みんなで可愛がりましょう。そしてレノファ山口がもつと元気なレノファとなるよう、みんなで応援しましょう。



編集後記

今は昔、高校の日本史の授業中、ある生徒が「どうして歴史を勉強しなくていけないのか?」と突然発言し、クラスが騒然としたことを思い出します。あれから半世紀以上経ちましたが、受験を前に、目の前の学びをただの暗記だと感じてしまうのは、今の子どもたちもそう変わらないかもしれません。今の私は、歴史を学ぶ目的は「過ちを繰り返さないため」に尽きると考えています。国内外の情勢を見ると、情報の氾濫に大人も子供も振り回され、歴史観の信頼性も不確かなまま強く発せられる言葉に、時に多くの人々がなびきがちな時代の空気を感じます。子どもたちがひとりひとり自ら考え、皆でより良い社会を築いていけるよう、大人たちが語りかけ成長を見守っていく、そんな社会、嘉川地区でありたいと思います。